

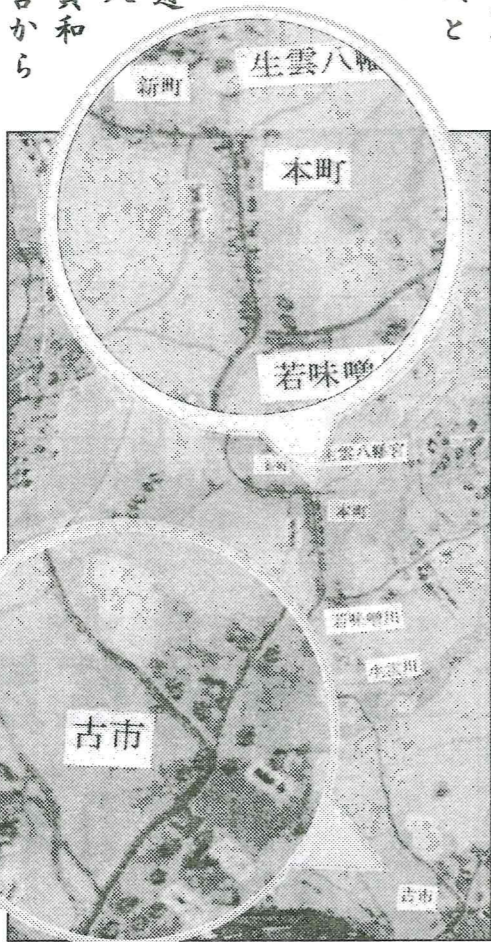
山代街道を往く 第2回 本和田峠~古市

ここから小川村をへて山陰へと
出陣していきました。

本和田峠の難所を越えると吉岡組の資材置場前から山際に沿ってしばらく進むと三叉路になり、その三叉路の東側の道をとって進み、県道萩篠生線(江戸時代には無かった)を横切って明尊寺前の溜池土手へと出ます。明尊寺の西側の柴田梨園の地は、元治元年(一八六四年)南園隊の駐屯地があったところで、

街道は鳥居前から門前町のように南へ本町通りへと続きます。江戸時代からこの通りは繁栄していたようで地下上下申絵図(左図)を見ると、通りに面して家が立ち並んでいます。この生雲市は山代街道の重要な町だったようで、現在の阿東森林組合生雲支所の地には、三戸家があり脇本陣でした。更に佐々木理髪店の後方には岡部家があり、同じく脇本陣でした。本陣は相上の大谷家(大庄屋)で、記録によれば萩藩主はしばらくこの本陣に宿泊したとあります。

街道は明尊寺前の溜池土手から家並みをくぐるようにして東へ進み野村商店の横に出ます。ここから新町通りを真っすぐ北上して生雲八幡宮前に達します。ここは貞和五年(一三四九)宇佐八幡宮から勧請されたといわれ現在地へは元禄八年(一六九五)移転造営したものです。この八幡宮に元治元年(一八五四)八月、七卿落ちの一人、澤宣嘉の願文(山口市指定文化財)があります。生野銀山の変に敗れた宣嘉が庄屋大谷家に身を寄せて、当時の国難に心を痛め八幡宮に願文を捧げたものです。



風土注進案(江戸

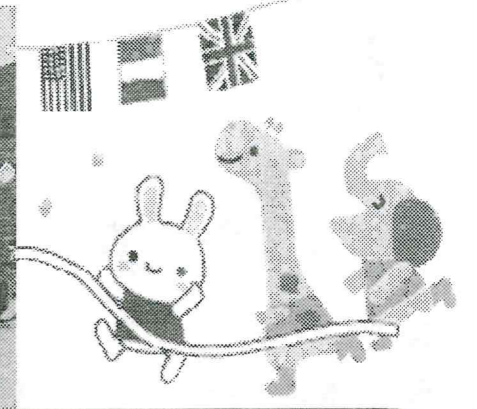
時代の記録)によれば「疎籠、商店もあり。衆人の通路も多い」と記録してあり、本町・新町の二つの通りの繁栄ぶりが伺われます。しかし、明治八年に起こった萩の乱で生雲市に前原軍が進駐、官軍との間に激戦となり家の多くが焼かれ(特に新町)通りには多数の死者があったと報告文書(山口文書館蔵)にあります。

資料・文責 寺山 忠満

「がんばるぞ 心を一つに生雲っ子」 保小合同秋季大運動会

9月22日(日)生雲小学校グラウンドで、保小合同運動会が園児9名・児童17名により開催されました。元気一杯がんばる子どもたちに、客席からは応援の大声援がおこります。

子どもたち・先生・IYFP(山口大学生)・保護者・地域と一体になった運動会は、秋晴れの空下で素晴らしい思い出の1ページとなったことでしょう。



ひゃっかりょうめん 百花練乱 ~仲間と咲かせる大輪の花~



9月8日(日)阿東中学校グラウンドで運動会が開催されました。前日からの雨で天候が心配されましたが、全競技無事終了することができました。「礼に始まり礼に終わる」競技ごとに響く元気な声と一糸乱れぬ礼は、観客席に感動をはこんでくれました。

青少年育成生雲地区民会議 インターネット安全教室

8月27日(火)生雲分館で、山口ケーブルテレビより講師をお招きして、インターネットの楽しさと怖さを親子で学習する教室が開催されました。子ども達がインターネットに触れる機会が増える一方で犯罪等に巻き込まれることも増えています。保護者と一緒に学習することによって、未然に防げることもあると思います。

